

き おろし 木下街道

木下街道は江戸時代には物資や人々の往来が盛んであった街道です。道沿いには寺社や文化財が点在しています。お散歩がてら、地域の歴史に触れにいきましょう。



街道の反対側には上山神明社の参道入口の鳥居が見える



藤原新田を拓いた鈴木家、安川家の塔碑が数多く建っている



堂内には「木造観世音菩薩立像」が安置されている（秘仏で公開はされていない）



なかぼろでんかいづか
中法伝貝塚

縄文時代中期（今から約4500年前）の小竪穴2基が発見された



境内には鎮守の杜らしい風情が残っている



表通りから少し入ったところにある



木下街道
 古くは銚子道や鹿島道と呼ばれ、八幡(市川市)の東から鎌ヶ谷・白井を経由して、利根川沿いの木下に至る道です。貞享4年(1687)8月には鹿島での月を見ようと、松尾芭蕉が門人とこの道を通りました。明治42年(1909)には鎌ヶ谷と中山を人車鉄道が開通しました。



戊辰戦争で亡くなった、官軍兵士の墓



鳥居をくぐり、階段を上った先に社殿がある

お散歩行程表(所要:半日程度) 総距離 6.3km

船橋法典駅	七面堂	中法伝貝塚	藤原観音堂	藤原神明社	上山神明社	法典公民館	馬込天満宮	官軍兵士の墓	駒形神社	馬込沢駅
→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
6分	7分	6分	5分	5分	24分	11分	14分	16分	23分	